

令和元年度

第1回

学校関係者評価委員会報告書

第1回学校関係者評価委員会 報告書

日時：令和元年7月16日（火）13：30～15：30

場所：松本理容美容専門学校 校長室

出席者：(有)ミヨシ取締役社長 三好 政明先生

(有)大和インターナショナル代表 遠山 一行先生

小原校長・吉川事務局長・小口教務主任・桐山広報企画部長

○小原校長より

令和元年度全体の見直しをして頂く会です。今後も認定校としての責任を持って学生達に今まで以上に満足してもらえる学校にしていきたい。今後も引き続き、忌憚ないご意見宜しくお願い致します。

【議題】

1. 令和元年度第1回自己評価委員会報告

令和元年度自己評価・自己点検中間報告について（資料1）

令和元年度中間報告として、教育理念の2項目・学校運営の4項目・教育活動の6項目・学生支援2項目
教育環境の2項目・学生募集と受け入れ3項目について、評価4について継続的に向上した部分を報告
評価4を、今まで以上により内容の濃いものにしていく必要がある。

項目と、全項目の周知すべき点の報告を行った。

（基準1） **総括** 美容科が職業実践専門課程の認定校として、産学連携の授業内容により実践的な、卒業後即役にたつ技術を習得できるカリキュラムを推進している。
教職員の意識改革を促すために、理事長自ら発案された「美しい人間関係」の資料を基準とした「職場におけるコミュニケーション」を円滑にする試みが実践されている。また新任教師への指導マニュアルとしても活用されている。

- ・理念・目的をより実践的なマニュアルとした「美しい人間関係」が作成され、教職員に配布した。
- ・学園理事、評議委員、教職員による「美しい人間関係」の読み合わせを行った。
- ・教職員による、日々の朝礼、終礼において「美しい人間関係」について意識喚起を続けている。
- ・教職員が学生の見本となる「美しい人間関係」の実践を続けている。
- ・30年度第10回全国技術競技大会・信越北陸地区大会
全国大会出場 美容 ワインディング 5名
理容 ワインディング1名 クラシカルバック2名 カット2名 デザイン画 5名
全国大会優秀賞 ワインディング4位・8位
全国学校連盟 カット部門 5位 1名 ワインディング 2名入賞
エステティックコンテスト スチューデント部門 決勝大会入賞 2名
- ・30年度後期理美容国家試験並びにエステティック資格試験において
美容科82名 理容科6名 ビューティビジネスク11名 受験者全員が合格した。

学校関係者評価委員コメント 遠山委員より

- ・前年度より、各コンテスト成果が向上していると感じている。教職員の先生方の熱心な教育の賜物である。今後も引き続き、頑張ってもらいたい。

今後の改善方策

- ・今年度以上の結果が出せるよう、職業実践専門課程認定校として、教育内容を検討していく。

(基準2) **総括** 平成30年 理容科13期生再開後、初の卒業生となる。
平成30年度5月 職業実践専門課程認定校となる。

- ・「美しい人間関係」をマニュアルとした実践を推進している。
- ・職員の「働き方改革」に向けて検討・改善への取り組みが始まった。
- ・平成31年度より実施開始する「働き方改革」について学生指導のあり方も併せて実践を開始した。
- ・空調設備の整備推進
- ・31年度美容科2名、ビューティビジネス科1名の教員を採用した。
- ・31年度の学生便覧の一部改正が行われた。

学校関係者評価委員コメント 遠山委員より

- ・働き方改革について、むずかしい部分であるが、前向きに取り組んで頂いているので良いのでは。
- ・新任教員も入社したとのこと、大切に育成して行ってほしい。

学校関係者評価委員コメント 三好委員より

- ・情報過多のため、正確な把握が難しいサロンも多いので、格差が生じてくるのでは。しかし、業界向上のためにも、働き方改革に基づき考え方を一新して変化して行ってほしい。学校の特色として、松本校は働くこと・就職に対してきちんと学べる学校であることが、県外の学校との差別化になるのでは。

今後の改善方策

- ・就職ガイダンス時に、政策内容を中心に説明を実施している。
働き方改革について、学生に運営管理の授業時または就職ガイダンス前に、説明を行っている。

(基準3) **総括** 職業実践専門課程認定校として、産学連携授業の一環として選択授業を開始し、内容の充実を図っている。

- ・平成31年度から準福祉理美容士検定授業が導入された。平成31年度より美容科2年生のカリキュラムとして
- ・「ネイル、メイク、セット、パーマ」の選択授業を開始した
- ・平成30年度からパーソナルカラー検定授業を導入した。
- ・平成31年度より美容科2名、ビューティビジネス科1名の教員を増員した。

学校関係者評価委員コメント 遠山委員より

- ・選択授業・カラー検定の導入は、サロンに役立つ実践的なカリキュラムとして効果的であると感じている。
産学連携を実践出来ていて良いのでは。来年度も引き続き、高い内容になる努力をして行ってほしい。

学校関係者評価委員コメント 三好委員より

- ・准福祉理美容士検定の内容は、実践的で今後、サロンで働く際に必要となる内容のため、素晴らしい取り組みである。

今後の改善方策

- ・選択授業の在り方が今後、学校の特色となると考えている。より実践的な内容になるよう検討していきたい。学校支援サロンの協力により、無事すすめられている。
- ・学生へのアンケートより、高齢者・障害者の人たちの役に立ちたいという意見が多く、考え方の変化を感じている。良い方向に向かえるよう、サポートしていきたい。

(基準4) **総括** 令和2年度の行事計画として、姉妹校である長野理容美容専門学校と共に両校技術競技会の開催へ向けての企画・運営準備を開始した。

- ・30年度美容師国家試験 100%及び日本エステティック協会認定エステティシャン試験の合格率 100%達成を果たしている。
- ・パーソナル検定モジュール1 46名全員合格
- ・ヘアカリストシングルスター検定 41名全員合格
- ・美肌検定 31名全員合格
- ・サービス接遇検定 理美容科 71名受験、61名合格 合格率 88.4%
- ・ビューティビジネス科 退学1名・美容科 休学1名。

学校関係者評価委員コメント 三好委員より

- ・国家試験合格率が、昼間・通信課程共に全国的にみても高レベルである。今後も様々な学生がおり、指導の難しさもあると思うが、継続していける様努力して欲しい。

今後の改善方策

- ・中退学者の低減が出来ている。学年会の実施。姉妹学級。日報を活用し、教務主任を中心に学校全体で学生のフォロー体制を実施している。
- ・全体的に各検定の合格率が向上してきている。今後も継続していきたい。

(基準5) **総括** 働き方改革についての説明を実施しており、業界全体の向上を依頼している。

- ・今年度より施行されている働き方改革に伴う労働条件等、変更事項を就職ガイダンス時に、サロン側に配布し、理解を促した。
- ・働き方改革実施に伴い、資料を作成し、説明を実施している。

学校関係者評価委員コメント 遠山委員より

- ・業界の質をもっと向上していくべき。学校とサロンが今まで以上に協力体制を強化していく必要がある。働き方改革を上手に活用していく。

学校関係者評価委員コメント 三好委員より

- ・各サロン差があると思うが、変化しないサロンは自然淘汰されていくのでは。高校生から選んでもらえる仕事にしていかななくては。就業規則（労働条件通知書）・保険加入の在り方がまだ、統一されていない現状もあるのでは。学校と業界に深い溝がある。

今後の改善方策

- ・まだ各サロン差があるため、就職ガイダンス時に引き続き、啓蒙活動をしていきたい。
- ・高等教育無償化の取り組みを学校としても準備を開始している。経済的フォローが必要な時代である。

(基準6) 総括 3か年計画にて、各教室のエアコン付け替え工事を行っている。

- ・長野県主催のフラワーフェスティバルに参加した。(6月)

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。校外イベントも積極的に実施しているので良い。

(基準7) 総括: 今後より一層、学生募集状況は厳しくなると考えている。本学園の魅力を正確に伝える事と、時代に合った広報活動を実施していく。

- ・学園HPの充実の一環として、インスタグラムを実施している、教員間のデータの共有。
- ・高校生と直接情報を交換できるLINE@の設備が整い、開始している。
- ・学園iPadを使用し、情報を配信している。フォロワー数も増加している。パンフレットにてQRコードを掲載し、高校生の友達追加を依頼。進路ガイダンス時に、説明を行っている。
- ・HPリニューアルを開始
- ・平成31年度から準福祉理美容士検定授業が導入された。平成31年度より美容科2年生のカリキュラムとして「ネイル、メイク、セット、パーマ」の選択授業を開始した。
- ・令和2年度高等教育無償化制度への認定校としての手続きを整えている

学校関係者評価委員コメント 遠山委員より

- ・地元の学校を卒業した学生たちが、就職では県外に行ってしまうのはなぜか？

学校より

- ・学校選択の時点で、県外の学校と迷い、経済的理由で本校に入学している学生も多い。就職率は、基本的には8割は地元就職である。
- ・学生募集の点でも、県外流出を防ぐ手立てをしている状況である。

学校関係者評価委員コメント 三好委員より

- ・奨学金を借りている学生に対しての保証制度も必要な時代である。

今後の改善方策

- ・奨学金返済分を給料に追加しているサロンも増えてきている。
- ・選んでもらえる職業にしていく必要がある。

2. 令和元年度重点目標について、中間報告

中間報告として、現時点で令和元年度重点目標の実施状況の報告

(ア) 就業規則の見直し

働き方改革における教職員の就業規則の見直しを推進している。

(イ) 指導の効率化

教職員一人ひとりが、学生指導・学級運営・学校行事・コンテスト指導・資格取得授業等の効率化の意識を高めていけるよう、学年会において情報の共有。日報の活用。副任の活用を上手に行いながら、学校全体としての目標達成に向けてサポート体制を強化している。

(ウ) 教育カリキュラムの充実

産学連携授業カリキュラムとして、1年次サロンカット・ヘアカラー検定・2年次選択授業の各科目の内容を充実するため、支援サロンの協力体制が整っている。

今後、令和2年2月までに重点目標並びに課題についても、結果を出していきたい。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。働き方改革の難しさもあるが頑張ってもらいたい。

3. 学校関係者評価委員より提言

学校より

- ・PTA役員から、本校卒業生がサロン入社した際、カット練習のためにウィッグを購入させることについて、サロン側が負担すべきではないという件についてご意見頂きたい。

学校関係者委員コメント 遠山委員より

- ・ウィッグをサロン側から与えると、やらされていることになってしまうのでは。自分自身で購入することが頑張りにつながると考える。事前の説明・伝え方が大切なのは。

学校関係者委員コメント 三好委員より

- ・自己投資が出来ている人は成長している。自分で購入した方が、大切に扱うので良いのでは。
- ・面貸しサロンの在り方も問題だと感じている。

学校より

- ・就職ガイダンス・授業講師の際、サロン側のラフな服装が気になる。学生に対して、きちんとユニホームの着用を指導しているので、サロンの方々も見本となる服装にしてほしい。

学校関係者委員コメント 遠山委員より

- ・業界としても、身だしなみについて問題になっている。TPOを踏まえた服装が良いのでは。学校側の文書に、学生の見本となる身だしなみで来てください。脱帽にて。と入れて促した方が良いのでは。

4. 次回予定

令和元年度第2回学校関係者評価委員会 令和2年3月12日(木) 13:30～